

【参考資料】

◆県内他市町村の状況

県内では、盛岡市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、奥州市、滝沢市、雫石町、岩手町、矢巾町、軽米町が 20 歳を対象とし実施することを表明している。

	理由	検討経緯	式名称
奥州市	①対象者を 18 歳とした場合の課題として、受験や就職等の時期と重なり、対象者や家族の精神的、金銭的な負担が大きいこと、旧友と再会する機会としての価値が薄まること、令和 4 年度に 18 歳から 20 歳までの成人式を一度に開催するとした場合の会場運営が困難なことなどが挙げられる。	市内高等学校の生徒会へ意向調査を行ったところ、「満 20 歳のほうが出席しやすい」、「進学等から時間が経ち様々な経験を友人と共有できる」などの理由から、全校が 20 歳での開催を希望	今後検討 ※市教育委員、社会教育委員の意見を伺う
	②対象者や家族の負担を軽減するため、家族や郷土への感謝の気持ちを深める機会にするため、また民法が改正後も飲酒、喫煙などの制限年齢となる 20 歳が区切りの年齢とも考えられるため。		
遠野市	①実施した意見聴取において、全ての方から 20 歳での開催に賛意が示されているため。	国等における調査結果を踏まえ、 ①成年年齢引き下げに伴う成人式のあり方検討会（成人実行委員経験者、市内の高校生、高校生の保護者）②市民センター運営協議会（社会教育委員）において意見聴取 →全ての方が「本市の成人式は 20 歳を対象に開催することが望ましい」との意見	遠野市はたちのつどい
	②就職や進学などの進路選択の時期である。年度内に 18 歳を迎える方を対象とし実施した場合、成人式が負担となる可能性があるとともに、保護者の経済的負担も重なるため。		
	③法律施行後も、20 歳は喫煙や飲酒等の多くの規制の区切りとなることを踏まえ、ひとつの節目の年であるため。		
盛岡市	①成年年齢の引き下げ後に成人となる 18 歳の多くは高校 3 年生で、進学や就職活動など、人生において最も重要な時期に当たり、新成人の参加が難しくなることが見込まれるため。	市内及び近郊の高等学校に通う盛岡市内在住の 1 年生及び 2 年生並びに同保護者へアンケート調査を実施 【調査数】 1,000 人（生徒 500 人（1 年生 250 人、2 年生 250 人）、保護者 500 人）〈回答数 966 人〉	盛岡市二十歳（はたち）のつどい
	②20 歳は飲酒など全ての年齢制限がなくなることから、改めて責任ある大人としての自覚や社会参加を促す機会として、また、		

	<p>これまでと同様に人生の節目としての開催意義があるため。</p> <p>③「盛岡市成人のつどいに関するアンケート調査」で、成年年齢の引き下げ後の「盛岡市成人のつどい」は、20歳を対象に開催すべきとする意見が高校生、保護者とも90%を超えているため。</p>		
一関市	<p>アンケート結果を踏まえて判断。</p> <p>【20歳を選択した理由】</p> <p>18歳、19歳は受験者新生活で忙しい、18歳では精神的に未熟である、20歳が節目であると感じる、今まで通りでよい</p>	<p>市内中学3年生、高校1年生の生徒及び保護者へアンケート調査を実施</p> <p>→「20歳に達する年度」と回答した割合は81%</p>	未定
北上市	<p>新成人者の意向に沿うため。</p>	<p>市内4高校の生徒会執行部、第1学年、学校及び学校PTA役員へ成年年齢引き下げ後の成人式開催年齢についての調査を実施</p> <p>生徒：「20歳開催」48.5%、「どちらでもよい」37.3%、「18歳開催」13.3%</p> <p>学校及び学校PTA役員：「20歳開催」8割以上</p>	20歳のつどい（仮称）
久慈市	<p>①民法上の成人に達した18歳は、受験や就職活動の時期と重なり、参加が難しくなることが見込まれるため。</p> <p>②20歳は進学や就職等により一定の社会経験積んだ年齢であり、落ち着いて参加できる状況にあるため。</p> <p>③20歳は飲酒や喫煙などの様々な権利が認められる節目であり、社会人の自覚をもって社会に参加を促す機会でもあるため。</p> <p>④「成年年齢の引下げに伴う成人式についてのアンケート調査」の結果によると、成人式の対象年齢を「20歳」とする回答が、高校生・保護者・関係機関・団体とも8割以上であったため。</p>	<p>高校生・保護者・関係機関・団体を対象にアンケート調査を実施</p>	久慈市二十歳（はたち）のつどい

滝沢市	①成年年齢となる 18 歳においては、大学受験や就職における繁忙期と重なるため参加が困難であると想定されるため。		滝沢市二十歳（はたち）のつどい
	②様々な権利が揃い、責任ある大人になったと実感できる 20 歳に式典を開催することが相応であると認められるため。		

◆式名称について

成年年齢の引き下げに伴い、20 歳で開催する成人式であることが分かる式名称に変更する自治体が多い。

- ・「20 歳（はたち）のつどい」、「二十歳のつどい」、「20 歳の集い」※多数
- ・「成人を祝う会」、「20 歳を祝う会」、「二十歳を祝う会」※多数
- ・二十歳を祝うつどい（東京都立川市）
- ・はたちを祝う記念式典（京都府京都市、従来この名称を使用している）
- ・成人の日記念青年のつどい（東京都府中市、従来この名称を使用している）
- ・二十祭まちだ（東京都町田市、従来この名称を使用している）
- ・成人式～二十歳のつどい～（石川県野々市市・大分県由布市、現名称「成人式」に追加）
- ・はたちのつどい-YELL-（茨城県下妻市、現名称「成人のつどい」より変更）
- ・「成人式」という名称をそのまま使用（山形県川西町）

※これまで通り 20 歳を重要な節目として成人を祝う式典であるため